

# ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2024.2.1  
No. 061

1月30日

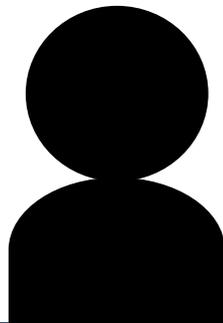
## JR東日本 新幹線架線垂下事故に対する 記者会見を行う！

鉄道事業本部長は会見にも現れず

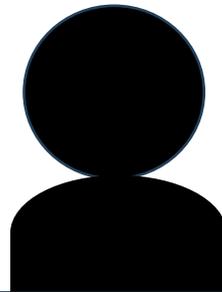
重大事故を起こしたにも関わらず

2名の感電事故

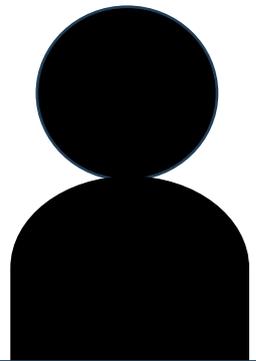
終日運転見合わせ



コーポレートコミュニケーション(観)



新幹線統括本部長



鉄道事業本部  
副本部長(電気)

### 事故以降点検してきたこと

- ・1週間かけて490か所を緊急点検(至近距離から目視)
- ・東京～大宮間の重錘ロッドについてはカラー試験(色を塗ってヒビ割れの確認)

**新幹線開業時期から使われているのは251か所！**

重錘ロッドの破断原因は鉄道総合技術研究所に究明していく！

**重錘ロッドの破断の直接的な原因はまだわかっていない！**

### 今後の対策

- ・東京～大宮間の重錘ロッドは3月末までに現存の重錘ロッドは交換。
- ・重錘ロッドをワイヤーで電化柱に固定する。
- ・二重に重りを支えるようにする。
- ・滑車式からばね式に変更。

事故が発生してからようやく動くJR東日本  
大船駅構内電化柱倒壊事故から成長なし！

感電事故について詳細はわかっていない。

架線垂下した場合の作業はき電停止してから作業に入る。

記者に質問されるまで感電事故の説明はなし

**事故を起こした会社の記者会見か！？**

ご迷惑をかけたお客さま、現場で対応した社員に申し訳ないという気持ちが一切感じられない！